

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	西川 啓 先生 (テレビ番組の達人)
実施校	豊川市立国府小学校
実施日	平成20年10月15日(水曜日)
実施学級	第5学年1・2・3組(106人)
授業の実際	<p>1 担任による達人の紹介。 テレビ番組の達人であることを話す。</p> <p>2 「国府小学校の米作り」を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオ映像をもとに、ナレーターをやってみる。 ・ 感想を話し合う。「声もじゃもじゃして聞きづらかった」 ・ 達人の感想を聞く。 何を聞きたいか、撮りたいかが大切。寺山修司「ぼくは世界に対する巨大な質問箱だ」 ・ インタビューされた子の感想を聞く。 「2年生の子にもインタビューするとよかった」 <p>3 達人の作った番組「うちの隣は超高層ビル」を視聴する。</p> <p>4 達人の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドキュメンタリーづくりについての思い。 何でもない普通の5年生の日常生活の中で、遊びを工夫し、たくましく楽しく生きている姿を伝えたい。 ・ ナレーションの練習をする。 大切なところで間をとり、情景をイメージできるように伝える。 ・ インタビューの練習をする。 一番聞きたいことを尋ねる。聞き上手になろう。 ・ 達人にインタビューする。 小5のときの感覚を思い出したくて来た。 ・ 達人の思いを聞く。 これから何にでもなれる。夢を思い描いてほしい。 もっと知りたい、やってみたいという思いを持ってほしい。私自身、まだ未完成だと思っている。
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただ書いてあるものを読むだけでなく、いろいろイメージして付け加える工夫を教えてもらったので、これからいろいろな所で使えると思う。 ・ ビデオの撮り方やインタビューの仕方を教えてくれた。インタビューが苦手だったけど、うまくなれそうだ。 ・ 「好きなように読んで」と言われたときびっくりした。でも、それは、その言葉に合う言い方で読めばうまくいくという意味だった。私も、みんなに伝わるように気持ちを込めて読みたいと思う。 ・ 西川さんの話を聞いて、「私の一番やりたいことは何だろう」「自分は将来何になっているのだろう」と考えた。西川さんは、私たちの年から夢を持っていてすごいと思った。
教師の感想	<p>今回の授業の流れはよかったと思う。しかし、子どもたちが緊張してしまい、進んで意見を言ったり体験してみたりすることができなかった。事前にこの授業の意義を伝え、多くの子が進んで取り組み、貴重なこの経験を生かせるようにするとよかった。授業の中での話は、達人の番組作りに対する思いが伝わったと思う。収穫祭の発表にも意欲的に取り組み、いい発表ができそうである。</p>

